

シンポジウム | 特別講演

## 教育問題シンポジウム

### 老年歯科医学の卒前教育の実態はどうなっている？

座長: 福島 正義(福島県昭和村国民健康保険診療所／新潟大学歯学部)

Sat. Jun 23, 2018 9:30 AM - 10:40 AM 第2会場 (1F 小ホール)

【略歴】

1978年 新潟大学歯学部卒業  
1982年 新潟大学大学院歯学研究科修了  
1982年 新潟大学助手・歯学部附属病院 (第1保存科)  
1986年 新潟大学講師・歯学部附属病院 (第1保存科)  
2001年 新潟大学助教授・歯学部附属病院 (総合診療部)  
2004年 新潟大学教授・医歯学系 (歯学部口腔生命福祉学科)  
2018年 福島県昭和村国民健康保険診療所歯科長  
日本老年歯科医学会終身認定医・終身指導医・理事  
日本歯科保存学会専門医・指導医・理事  
日本接着歯学会終身認定医・前会長  
日本歯科審美学会認定医・常任理事  
日本歯科理工学会DMSA

【抄録】

平成29年版高齢社会白書によると、高齢化率は27.3%に上っている。人類史上かつてない超高齢社会の到来に伴い、歯学教育における老年歯科医学教育の充実が急務である。教育問題検討委員会では、2015年に老年歯科医学教育基準を公表した。しかし、わが国の歯科大学・大学歯学部および歯科衛生士養成校における老年歯科医学教育に関する講義・実習の実施状況や教育基準の内容がどの程度教授されているかは不明であった。そこで、2017年に歯学生および歯科衛生士学生に対する老年歯科医学教育の実態を明らかにするためにWebアンケート調査を実施した。本シンポジウムでは学会誌に公表された今回の調査結果を解説する。さらに、2017年に歯学教育モデル・コア・カリキュラム (平成28年度改訂版) と歯科医師国家試験出題基準 (平成30年版) が相次いで公表されたことにより本学会の教育基準との整合性を確認し、これらの分析を総括して教育機関における教育体制のあり方を考察する。

## [S7-4]教育基準 (2015年) と歯学教育モデル・コア・カリキュラム (平成28年度改訂版) との整合性

○阪口 英夫<sup>1</sup> (1. 陵北病院 )

【略歴】

1989年 東北歯科大学歯学部卒業  
1992年 医療法人尚寿会大生病院歯科勤務  
2014年 東京医科歯科大学医歯学総合研究科卒業  
2014年 医療法人永寿会陵北病院歯科診療部歯科診療部長  
2018年 医療法人永寿会陵北病院副院長  
明海大学歯学部社会健康科学口腔保健分野講師  
奥羽大学歯学部高齢者歯科学講座講師  
東京医科歯科大学歯学部高齢者歯科学分野講師  
日本大学歯学部摂食機能療法学講座医員  
日本口腔ケア学会評議員  
社会歯科学会評議員

日本病院歯科口腔外科連絡協議会理事  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員  
日本老年歯科医学会専門医指導医・評議員  
日本口腔ケア学会指導者・評議員

高齢者医療は歯学教育モデル・コア・カリキュラムでは地域医療に位置づけられている。その中で訪問歯科診療やかかりつけ歯科医機能を学習する。一方、教育基準ではこれらの項目はそれぞれ各論として扱われている。訪問歯科診療における診療方法、歯科衛生士による訪問口腔衛生指導と口腔ケアについて学習することが明記されている。また、高齢者の特性はモデル・コア・カリキュラムでは生命科学としての老化を、教育基準では加齢現象による身体変化を学習する。社会制度や福祉・介護に関する項目およびチーム医療にかかる各医療職種の解説では、両者とも詳しく学ぶように項目が示されている。これらの項目は多職種協働で重要である。このように2つの指針を比較することで次回の改訂作業で整合性を図る必要がある。